

あたたかい子
かしこい子
たくましい子

学校だより

つよし

—第37号—

令和4年1月24日
平戸市立津吉小学校
文責 校長 田川定司

つよし検定よくがんばりました！

本日、「つよし検定」の表彰を実施しました。子供たちは冬休みによく練習に取り組み、昨年度より合格者が増えるなど、素晴らしい結果でした。つよし検定は、「基礎学力の育成・向上」「家庭学習の習慣化」「やればできるという意欲やチャレンジ精神の育成」を目指して実施しています。



合格率 (80点以上)	【漢字】97.6% (126名中123名) ←1回目より合格者が12名増 【計算】85.7% (126名中108名) ←1回目より合格者が8名増
満点賞 (両方満点)	【1年】・岩崎優奈 ・浦邊怜恵花 ・江口徠翔 ・山本彪雅 ・松永 燎 ・田嶋伶彩 ・橋口珠海翔 ・柴山陽士 ・田中優菜 ・橋村大貴 ・浜本美舟 ・嵯本萌乃夏 ・福田優菜 ・藤島 碧 ・松尾和夏 ・山口由奈 ・栗山ゆうな ・吉住優輝 ・吉永 詩 ・吉永柚稀 【2年】・嵯本れんか ・西山颯音 ・松永あかり ・山下航宙 【4年】・大村小雪 ・小値賀詢也 ・佐々木貴竜 ・里崎秀哉 ・松山大志 ・山口桃花 ・山田結愛 ・山本望睦 ・吉永悠之伸 【5年】・嵯本みさと ・杉村寧音 ・浜本南々帆 ・吉永希愛 【6年】・小川 俊 ・西山幸志 ・吉永皓太朗 ・松尾雪音 ・山口 花奈
団体賞	1年生 (漢字・計算の平均点合計が1番高かった学級)

新型コロナウイルス感染症予防に努めましょう

新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大し、先週から長崎県においても「まん延防止等重点措置」が適用されました。長崎県内においても感染者が1日400人を超える日もあり、平戸市だけでなく近隣の市町でも感染者が確認されています。決して気を緩めることなくその対策を十分徹底し、子供たちの命・健康を守らなければなりません。津吉小学校では感染症対策を徹底し、感染予防にお一層努めています。日頃の学級指導に加え3学期始業式でも指導を重ねたところです。

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、各ご家庭に対し、下記の対応を改めてお願いします。

- ① 毎日、「マスク着用」して登校させてください。
- ② 毎朝、御家庭で検温し「体温チェック表」を提出してください。
- ③ 規則正しい生活を心掛け、食事・睡眠を十分にとらせてください。
- ④ 不要な外出を避けるとともに、外出の際はマスクを着用し、こまめに手を洗ったり消毒をしたりするなどウイルスの付着を防いでください。
- ⑤ 手洗いやうがい、咳エチケットなどに努めてください。

裏面もご覧ください

私は、5人兄弟姉妹の真ん中に生まれました。上に兄と姉、下に妹と弟。小さいころ、友達に兄弟姉妹がたくさんいて恵まれていると言われていましたが、私は、兄弟姉妹が多いのは嫌でした。なぜかというと、兄弟けんかはするし、新品の物は買ってもらえずおさがりが来るからです。クリスマスには大きなケーキを、父母を入れた家族7人で7等分しなくてはいけません、いつも8等分にしたあげく、残りの1つをめぐって決まって兄弟げんかとなりました。毎日の食事は、個別につき分けず、大きなお皿のものを一人ずつ自分の皿にとって食べるスタイルでした。末っ子の弟は食欲旺盛でたくましく、みるみる肥満児となり、いつしか弟の洋服のおさがりの行き先も私となりました。

結婚し3人の子どもを育てた現在、5人の子どもを育てた父母の苦勞が嫌というほど身に沁みます。経済的にも苦しく家族旅行にも行けませんでした。我が家のマイカーは29人乗りのマイクロバスでした。なぜかというと、父が町の武道館で柔道の指導をしていたからです。マイクロバスはその遠征用に購入したもので、家族でどこかに出かけるときは、柔道部のメンバーがいつも同伴していました。よその家の子も我が子も同じようにバスに乗せ出かけるのが我が家の「普通」でした。

大人になった現在、5人兄弟姉妹それぞれに家族ができましたが、いつも正月だけは、父母のいる田平の実家に集まります。けんかばかりしていた兄弟姉妹の現在は、仲がすこぶるよく、今は、兄弟姉妹が多いことを父母に感謝するとともに誇りに思います。

今年の正月も田平の実家に集まり、子供のころマイクロバスで団体行動していたことなど昔話に花を咲かせていました。そのとき不意に私の高校時代、進路を決める3者面談に、父が見た目の悪い紅白の軽自動車に乗ってきたことを思い出しました。思春期の私にとってとても恥ずかしかった思い出ですが、マイクロバスしかない我が家だったので、整備工場で例の紅白の軽自動車を借用したらしかったです。その時、恥ずかしさのあまり父を攻め立てた私に、父は「紅白の車は縁起がいいので、きっと大学も合格するさ。」と言いのけました。そんな高校時代のエピソードを思い出した時、下記の話思い出しました。

「世界で一番美しい姿」

「おばちゃん、肉まん2つね。」

その母親は、美術学校に通う娘が絵の勉強を続けられるように、市場の片隅の小さな店で、肉まんや餃子を作って売っていました。

ある日の午後、朝から立ちこめていた雲から大粒の雨が落ち始めました。母親は急いで店じまいをすると、2本の傘を手にして娘の通う学校に向かいました。ところが、学校の扉に手をかけた瞬間、ハッと自分の服装に気付いたのです。履き古したつっかけに、小麦粉で白く汚れたエプロン。娘は多感な年頃です。娘の心を傷つけないように、母親は校舎の下で授業が終わるのを待つことにしました。

しばらくたって、ふと3階の窓を見上げた母親は、ちょうど窓から顔をのぞかせていた娘と視線が合いました。母親は笑顔で手を振ったのですが、娘は仕事着の母親に来てほしくないと思ったのか、見て見ぬふりをするばかりです。母親はすっかり肩を落とし、一人で帰りました。

それからしばらくして、母親は娘から展覧会の招待状を渡されました。娘に恥ずかしい思いをさせたくないと思われていた母親でしたが、いてもたってもいられなくなり、店を閉めて学校に急ぎました。学校に着いた頃には薄暗くなっており、母親は誰もいなくなった会場で娘の絵を探しました。そのとき、一枚の絵が母親の目に飛び込んできたのです。母親の目には、みるみるうちに涙があふれてきました。そこには、小麦粉だらけのエプロンを着け、古びたつっかけを履き、雨の中で娘を待つ母親の姿が描かれていました。

その絵には、「世界で一番美しい姿」という題名がつけられていたそうです。